

※研修は東京都内のシルバー人材センターの会員の方が対象です。
※日程や場所など、変更になる場合があります。

上半期				
研修名	定員	日数	日程	会場
生活支援サービス研修①	25	5	5月30日（月）～6月8日（水）	東京しごとセンター
生活支援サービス研修（調理）①	15	1	6月9日（木）	新宿区「ここから広場」仕事棟
家事援助サービス基本研修①	25	2	6月20日（月）・23日（木）	東京しごとセンター
生活支援サービス研修②	25	5	7月4日（月）～14日（木）	三多摩労働会館
生活支援サービス研修③	25	5	9月6日（火）～22日（木）	三多摩労働会館

下半期				
研修名	定員	日数	日程	会場
生活支援サービス研修④	25	5	10月25日（火）～11月2日（水）	東京しごとセンター
生活支援サービス研修（調理）②	15	1	12月8日（木）	立川市女性総合センター
家事援助サービス基本研修②	25	2	12月13日（火）・15日（木）	三多摩労働会館
生活支援サービス研修⑤	25	5	令和5年1月16日（月）～25日（水）	東京しごとセンター
生活支援サービス研修⑥	25	5	令和5年3月2日（木）～14日（火）	三多摩労働会館

研修を受講するには

「生活支援サービス研修」は全日程を一度に受講できない方は、受けられるカリキュラムだけでも是非受講ください。
次回以降の研修で未受講のカリキュラムを補講として受講することができます。ご遠慮なくどうぞ!!

所属されているシルバー人材センターへお申し込み（まだ会員でない方は早速入会手続きを!!）

（公財）東京しごと財団事務局が各シルバー人材センターからの推薦に基づき受講者を決定
（先着順となります。）

（公財）東京しごと財団事務局から、受講決定者へ受講決定通知と研修についての詳しいご案内を
ご自宅へ郵送いたします。

講習の概ね1か月前から各センターで受講者の募集を開始します。（詳細日程もその時お知らせします。）
受講料は無料です。（テキスト、上級救命講習受講等全て無料です。）

研修に関するお問い合わせはこちらへお気軽にお問い合わせください。

（公財）東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）
総合支援部 シルバー人材センター課 シルバー事業係
TEL 03-5211-2314 平日 9:00～17:00



<https://www.shigotozaidan.or.jp/>



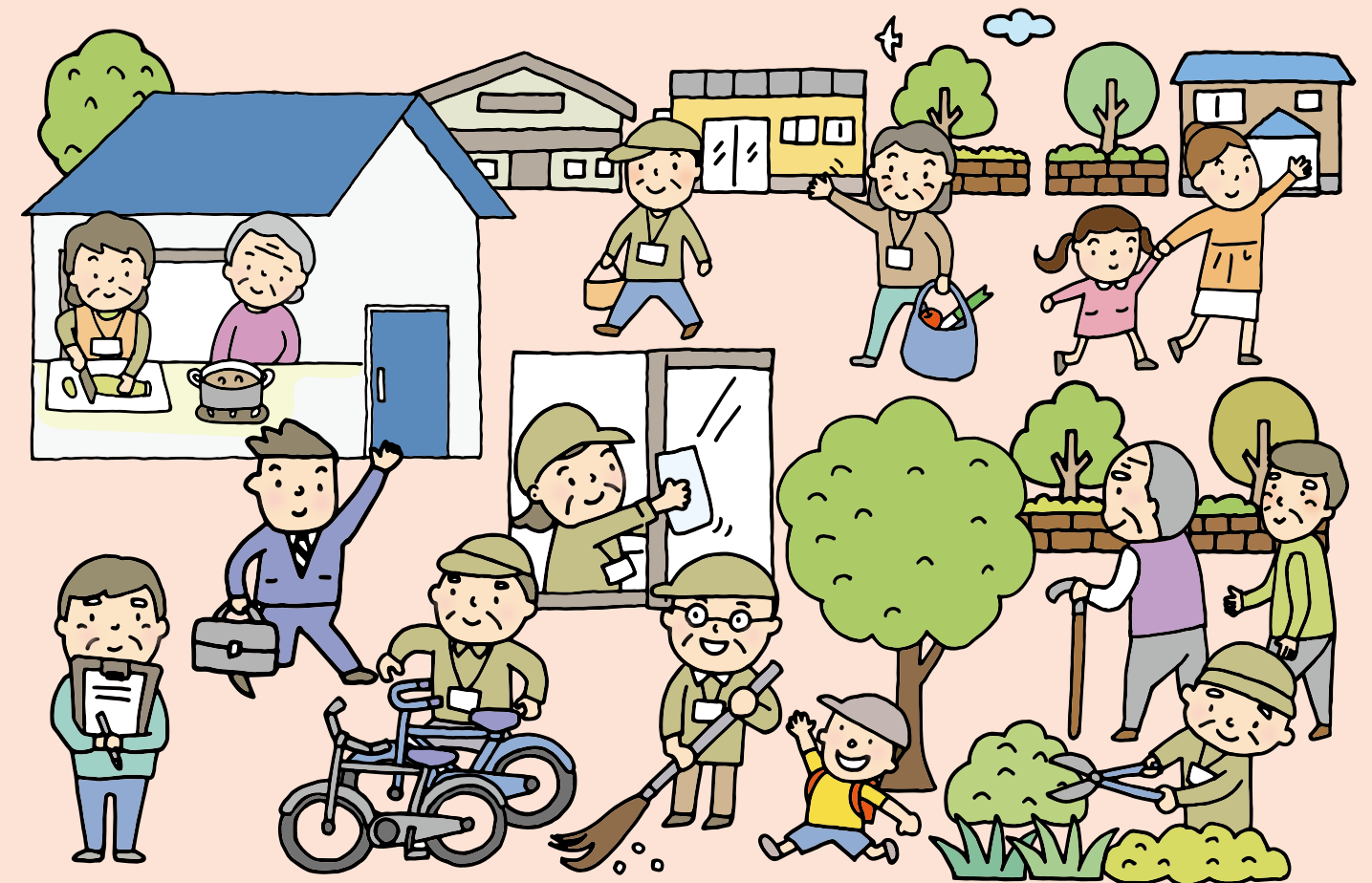
<https://www.tokyosilver.jp/>



発行月:令和4年5月

元気なシルバーが地域を支える!!

学んで一歩先へ!!



「家事援助サービス、生活支援サービスで働こうと思っている」
「すでに働き始めた」「介護保険制度を知りたい」など
安心して働くために、働いてよかったと思えるために、ぜひ研修を受けてみましょう!



公益財団法人 東京しごと財団
（東京都シルバー人材センター連合）

シルバー人材センターは地域を支えています！

生活支援サービス研修

年6回

東京しごとセンター（飯田橋）と
三多摩労働会館（立川）などで実施

上級救命講習
も含めて

5日間

あなたの出番!!
元々シルバー人材センター

介護保険制度の改正に伴い「介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）」の生活支援サービスを担当するシルバー人材センターが東京都全体の半数以上となっています。また、各シルバー人材センターでは介護予防や認知症対策が課題となっています。

本研修では、生活支援サービスの基本を、介護保険制度や認知症の理解などと共に学びます。



■主なカリキュラム（基本型）

1日目	5.5H	2日目	5H	3日目	8H	4日目	5H	5日目	5.5H
●地域福祉サービスと介護保険制度		●老化・認知症の理解 ●認知症サポーター養成講座 ●利用者の理解とコミュニケーション		●上級救命講習 消防署にてAED使用法、心肺蘇生法、外傷の応急救置などを学びます。		●生活支援の基本 （ヒヤリハット、記録・報告の方法、生活支援の実際等）		●生活支援における尊厳の保持・自立の支援 ●これまでの研修の振り返り	

「老化・認知症の理解」では特殊な器材を用いて、目と足腰の衰えたお年寄りの日常生活を疑似体験できます。更に同じ2日目の「認知症サポーター養成講座」を受講すると、認知症を支援するサポーターの「目印」としてオレンジ色のブレスレットの「オレンジリング」をお渡しします。（認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けをする人です。）



「生活支援の基本」では、会員の方向士で実際に車椅子に乗る、車椅子を押すという貴重な体験が得られます。



*全研修時間の80%以上のカリキュラムを累計で受講すると当財団から「修了証」が発行されます。
*上級救命講習を受講すると東京消防庁より「上級救命技能認定証」が発行されます。本認定証は生活支援サービスだけでなく、保育補助、施設管理など幅広い職種で就業する方に有益な資格です。

認知症サポーター養成講座受講生の感想

- ▲ 具体的な例題と講師の体験も含まれ、認知症の理解が深まった。
- ▲ 自分の勉強不足をあらためて認識した。今後に活かしたい。
- ▲ 訪問した利用者の状況に思い当たる点ばかりで、よく理解できた。
- ▲ 初めて認知症について勉強したが、資料もわかりやすかった。
- ▲ 認知症にも色々な症状があり、適切な対応が必要と分かった。
- ▲ 現場でわからなかったことも答えてくれて、聞けたので良かった。
- ▲ わかりやすい説明で、周囲の人たちの話し方が重要であるとわかった。
- ▲ 利用者が大切にしていることを優先し、コミュニケーションを大事にしていこう実践したい。
- ▲ 実際には大変なことだが、認知症の方を否定せず受け入れることが大切だと分かった。

家事援助サービス基本研修

年2回

東京しごとセンター（飯田橋）と
三多摩労働会館（立川）などで実施

2日間

■主なカリキュラム（過去の研修例）

1日目	5H	2日目	5H
●福祉・家事援助サービスの基本 意義・感染予防対策		●自宅の家事と仕事としての家事援助	
●福祉・家事援助サービスにおける接遇及び個人情報保護		●福祉・家事援助サービスの実際（センター職員及び会員の体験発表）	
		●福祉・家事援助サービスにおける安全就業	

初めて就業しようとする方向けの基本的な研修です。「家事援助サービス」ってどんな仕事なの？ どのような点に気をつければ良いの？ などなど。疑問や心配にベテラン講師がお答えします。シルバー人材センターの職員や先輩会員が、就業現場でのあるあるでお答えします。



研修を受講した会員の皆様の声

- ▲ 元気なシルバーが地域で貢献できると思うと嬉しいし、常に前向きに自分らしく就業するためのヒントを掴むことができた。
- ▲ 生活支援において利用者の方の自立をいかに助けるか、尊厳を守ることがどんなに大切か学ぶことができた。
- ▲ 介護保険制度の仕組みが理解できた。自分自身の身近な問題と感じた。
- ▲ どの講師の方もベテランの方々に興味深く、実体験に基づいた話が何より参考になった。
- ▲ 車椅子は見るのと乗るのでは大違いであることを身をもって実感した。
- ▲ 地域包括支援センターの役割や地域密着型サービスの内容を理解できた。自分の今後にも役立てたい。
- ▲ 援助を受ける側だけでなく、提供する会員にとっても良いことがたくさんあると知った。
- ▲ 仕事をする上での注意点を具体的な事例で聞くことができた。
- ▲ 上手な聞き手になることとコミュニケーション能力の重要性がわかった。
- ▲ サポートの際の具体的な注意点を知ることができた。